



出演者・作曲家インタビュー



宇土高校和太鼓部 部長
志垣夏美さん

太鼓とともにある時間

先輩たちの演奏を初めて見たとき、「ただ、かっこいい…」と思い、その気持ちだけで、高校1年の春に和太鼓部の扉を叩きました。気づけば太鼓は、仲間と心を通わせる大切な時間になっていました。演奏が終わったあとに届く拍手や、部活の外でも続く仲間との何気ない会話。太鼓を通して、たくさんの人とつながれたことが、私にとって一番うれしいことです。そして、3月の宇土太鼓祭は、「高校生活最後の太鼓祭」。悔いのないよう挑戦したい——今はその思いでいっぱいです。



宇土天響太鼓
中嶋菜奈子さん

変わり続ける中で、守りたい音がある

一度は太鼓から離れましたが、進学や仕事を経て再び関わる中で、また戻ってきました。宇土で育ち、太鼓と歩いてきたからこそ、ここで続ける意味を前より強く感じています。さまざまな世代が同じ場所で音を響かせることは、決して当たり前ではありません。今回の新曲「天泣(てんきゅう)」は、雨が巡り、また天へ還っていく情景を描き、自然のリズムと人の営みが重なり合うような音の流れが印象的な曲です。太鼓は“うまくなる”だけでなく、関わり続けることが大事。今は、その思いを音に込めています。



宇土天響太鼓
三輪知寛さん

宇土で育ち、宇土で打つ

太鼓は、気づけばずっとそばにありました。宇土で生まれ育ち、子どもの頃から太鼓と歩んできましたが、県外での経験を経て、再びこの地で太鼓を打ち続けています。今回作曲した、新曲「潮路(しおじ)」は、潮の満ち引きによって道が現れては消える、長部田海床路の情景を音にしたものです。人の営みや想いも波のように巡っていく感覚を太鼓で表現したいと思いました。宇土が“太鼓のまち”だと胸を張って言えるように、当日、ぜひ宇土の子ども達にも見てもらいたいですし、一度ぜひ太鼓の世界に飛び込んでみてほしいです。きっと人生の宝物になります。



太鼓芸能集団「絢衣」
田中理雄さん

音が人をつなぎ、道をひらく

高校時代に太鼓と出会い、気づけばずっと太鼓のそばにいました。宇土で続けてきたからこそ、外に出たときにこの場所の特別さを実感しました。世代や立場を超えて同じ音を響かせられる環境は、とても贅沢なものだと思います。新曲「かぜのみち」は、風が土地を渡り、景色を少しずつ変えていく感覚を音にした作品で、人との出会いによって自分の中の景色も少しずつ動いていくという思いも込められています。太鼓は言葉がなくても伝わり、理屈を超えて人とつながれるもの。若い世代にも気負わず触れてほしいです。

今回の宇土太鼓祭で作曲を担当した、左から三輪さん、高田さん、志垣さん、松本さん、森さん、田中さん、中嶋さん



チケットプレイガイド

宇土シティモール	☎0964-26-1111
熊本県立劇場	☎096-363-2233
宇土市民会館	☎0964-22-0188
ローソンチケット	Lコード:81712

Information

宇土太鼓祭 2026『水の記憶』

日時	2026年3月22日(日) 13:30開演(13:00開場)
会場	宇土市民会館 大ホール
出演	宇土太鼓祭実行委員会 (宇土天響太鼓・太鼓芸能集団「絢衣」・宇土高校和太鼓部「鼓」)
入場料	一般 2,000円／U25 1,000円 ペア 3,000円／応援チケット 5,000円 ※応援チケット1枚につき、市内小学生3名まで無料招待
問い合わせ	宇土市民会館 ☎0964-22-0188

水は、記憶を運ぶ。

泉から湧き、川となり、海へと注ぎ、やがて雨となって再び大地へ——

宇土のまちに息づく水の循環は、古くから人々の祈りや営みとともにありました。

その記憶を音として受け継いできたのが、雨乞い大太鼓です。

14年目を迎える宇土太鼓祭、今年のテーマは「水の記憶」

宇土の風土に育まれてきた太鼓の音を、いまを生きる若い奏者たちが見つめ直し

新たな響きとして紡ぎ出します。

音がつなぐ、過去と現在、そして未来へ。

宇土だからこそ生まれる物語が、いま動き始めます。

2026年
3月22日(日)
13:30開演(13:00開場)
宇土市民会館 大ホール

宇土太鼓祭

水の記憶

宇土太鼓祭は、宇土天響太鼓、太鼓芸能集団「絢衣」、宇土高校和太鼓部「鼓」の宇土に拠点を置く三つの団体の若手メンバーによって企画・運営されています。企画立案から広報、チケットセールス、舞台製作、当日の運営まで、すべてを自分たちの手で担いながら、一つの舞台をつくり上げていきます。また、今回は公演のほぼ全ての楽曲をメンバーによる新曲でお届けします。

この取り組みは、単なる3団体の発表の場ではなく、「舞台づくり」を通して、多様なメンバーが世代や立場を越えて意見を交わし、時にぶつかりながらも、一つの表現に向かって力を合わせる、本気の学び合いのプロセスです。その経験が、宇土の太鼓文化の新たな土壌を育てています。宇土には、長い時間をかけて受け継がれてきた太鼓文化があります。私たちはその歴史を大切にしながらも、いまを生きる感覚で捉え直し、次の世代へと手渡していきたいと考えています。

受け継がれてきた太鼓文化を、未来へ。



太鼓芸能集団「絢衣」
宇土太鼓祭 実行委員長・企画演出
高田大介さん